



KIKOREL

Tailscale接続手順

BOOK 06 / 導入担当者・全利用者

必要な冊子から、画面を見ながら進める。

対象：Hub 0.11.62／iPhone・iPad 1.0（ビルド53）

改訂：2026年10月10日 v1.2 接続の操作手順を簡潔に整理

目次（クリックで移動）

- 02 Mac | Tailscaleを接続する
- 03 Windows | Tailscaleを接続する
- 04 iPhone・iPad | Tailscaleを接続する
- 05 Hub | 接続URLを取得する
- 06 初回だけ | HTTPSを有効にする
- 07 最後に | 短い録音を送って確認する
- 08 つながらない時 | 4つだけ確認

注意・確認

KIKOREL画像は説明用・既存の検証画面。Tailscaleは公式参考画面と説明図です。各図の出典・版を確認。導入先の実機接続試験は別途必要です。

Mac | Tailscaleを接続する

Macを使う方はこのページを進めます。Windowsの方は次ページへ進んでください。

Mac：公式取得 → VPN許可 → ログイン

1

公式から取得

tailscale.com
macOSを選択
新規はStandalone
.pkgを開く

2

導入と許可

Tailscaleを起動
VPN・拡張の許可
正規アプリを確認
案内に従う

3

接続を確認

上部のアイコン
Log in
代理店のtailnet
Connectedを確認

説明図：Mac App Store版とStandalone版を重ねて導入しません。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | 公式サイトから入れる

<https://tailscale.com/download> のmacOSから.pkgを取得し、開いてインストールします。導入済みなら手順3へ進みます。

2 | 起動して許可する

Tailscaleを開きます。VPN構成やネットワーク拡張の許可画面が出たら、アプリ名を確認して許可します。

3 | ログインして接続する

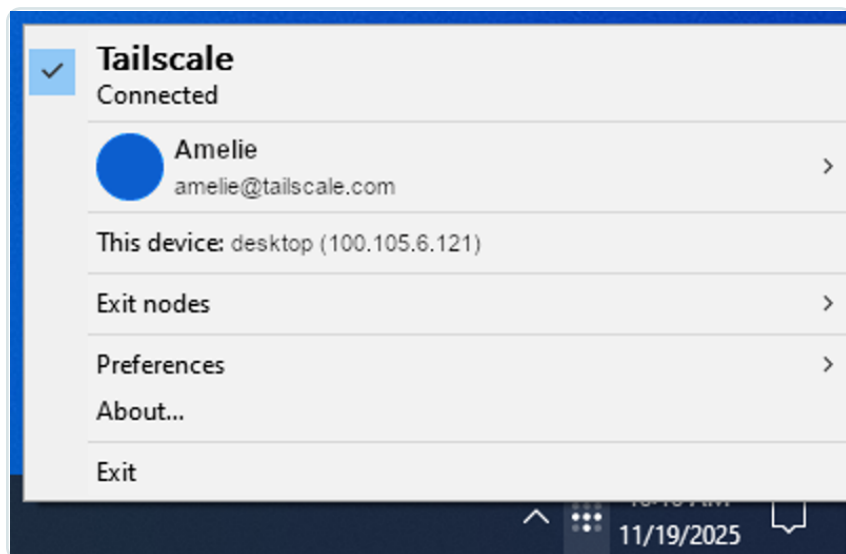
画面上部のTailscaleアイコン→Log in（ログイン）。案内されたアカウントで認証し、Connected（接続中）を確認します。

注意・確認

Tailscaleを重ねてインストールしません。すでに別の配布版が入っている場合は、そのまま接続を確認するか管理者へ相談してください。

Windows | Tailscaleを接続する

Windowsを使う方はこのページを進めます。Macの設定は不要です。



Tailscale公式Windowsガイドの参考画面。表示はアプリの版によって異なります。

1 | 公式サイトから入れる

<https://tailscale.com/download> のWindowsから.exeを取得し、実行します。導入済みなら手順2へ進みます。

2 | 右下のアイコンからログイン

通知領域のTailscaleを右クリックしてLog inを選びます。アイコンが見えなければ上向き矢印を押します。

3 | 接続中を確認する

ブラウザで本人のアカウントを認証し、Hubと端末が同じ参加先になるよう選択します。Connected（接続中）が表示されたら完了です。

注意・確認

インストール時に管理者権限が必要な場合は導入担当者へ確認します。既存のセキュリティソフトを無効にしません。

iPhone・iPad | Tailscaleを接続する

録音に使うiPhone・iPadを、1台ずつ設定します。

iPhone・iPad：初回の許可と本人ログイン

1

App Store

Tailscaleを入手
KIKORELとは別
開発元を確認
1台ずつ導入

2

初回の案内

Get Started
VPN構成追加
Allow（許可）
端末で認証

3

本人ログイン

Log in
自分のアカウント
招待された参加先
再認証通知を確認

説明図：OSの許可画面・アプリ表示は版によって異なります。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | App Storeから入れる

App StoreでTailscaleを検索して入手し、開きます。KIKORELとは別のアプリです。

2 | VPN構成を許可する

Get Started（開始）を押します。VPN構成追加の画面でAllow（許可）を押し、端末で認証します。通知は再ログインの案内を受け取るために使います。

3 | ログインして接続する

Log inを押し、本人のアカウントでログインします。Hubと同じ参加先を選び、接続スイッチをオンにしてConnected（接続中）を確認します。

注意・確認

端末の版によって表示順が変わることがあります。会社の管理制限で許可できない場合は管理者へ相談してください。

Hub | 接続URLを取得する

Tailscaleを接続したPCで、登録済みのKIKOREL Hubを開きます。

STEP 3

iPhone・iPadを追加

5分・1回限り

接続情報をQRコードで安全に渡します。管理者トークンや端末トークンはQRに含めません。

このHubの接続URL

端末に表示する保存先名

https://manual-hub.example.invalid

接続URLを自動取得・更新

KIKOREL Hub

管理者が設定した接続URLを使用しています。最終確認：2026/10/10 17:21:07

この端末を使う人と権限

登録済み利用者の情報を使う（権限は下で確認）

新しい利用者を入力

有効な登録端末の利用者情報を候補に表示します。権限は自動コピーしません。

利用者ID

利用者氏名

AGENT-DEMO

説明用 募集人

所属営業所ID

OFFICE-DEMO

☒ 募集人

☐ 責任者

☐ コンプライアンス担当

☐ システム管理者

募集人は本人案件のみ、責任者は本人案件と管轄営業所、コンプライアンス担当・システム管理者は同じ保存先内の全案件を閲覧します。同じ利用者による自己承認はサーバー側で拒否します。

ペアリングQRを発行

Hub 0.11.62／Macで撮影・説明用環境（2026/10/10）。Windowsは共通UIです。

1 | 端末追加の画面を開く

「管理・設定」→「iPhone・iPadを追加」を開きます。

2 | 接続URLを更新する

「接続URLを自動取得・更新」を押します。初回の案内が出たら、次ページの手順でHTTPSを準備します。

3 | 成功表示を確認する

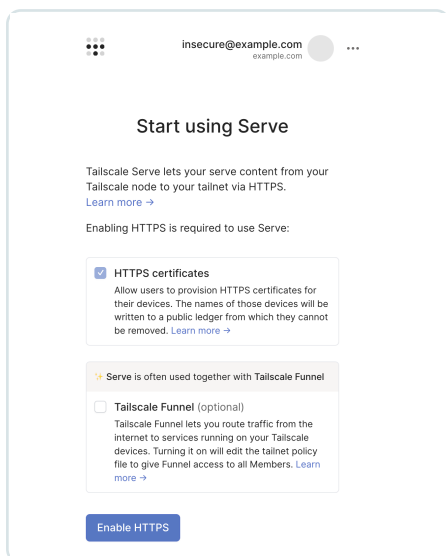
https://で始まるこのPCの接続URLと成功表示を確認します。その後に本人用QRを発行します。

注意・確認

図のexample.invalidは説明用です。実際のURLは自動取得します。販売元の申込URLや保存フォルダを入力しません。

初回だけ | HTTPSを有効にする

Hubに初回設定の案内が出た場合だけ行います。設定済みなら次へ進みます。



Tailscale公式Serveガイドの参考画面。初回のHTTPS承認画面の例です。

1 | 初回設定を開く

Hubの「Tailscaleの初回設定を開く」を押します。代理店のネットワーク管理者がログインします。

2 | HTTPSを承認する

HTTPS certificatesを確認し、Enable HTTPS（HTTPSを有効にする）を押します。Funnelの選択欄がある場合は選択せず、HTTPSだけを準備します。

3 | Hubへ戻る

「接続URLを自動取得・更新」をもう一度押します。成功表示を確認してQR登録へ進みます。

注意・確認

Funnel（一般公開）はこの接続手順では使いません。端末名に顧客名を入れず、証明書警告が出た場合は管理者へ確認してください。

最後に | 短い録音を送って確認する

接続確認だけでなく、録音がHubへ届くことも確かめます。

実際の端末で：社内・外出・再起動後を確認

1

社内で試験

PCと端末を接続
本人用QR
架空の顧客名
短い録音

2

外出回線で試験

モバイル通信等
Tailscaleもオン
PCの電源を保つ
接続・再送を確認

3

結果を照合

原音の到着
転送・完全性確認
報告書・責任者確認
日時と結果を記録

説明図：接続確認と、録音の転送・報告書完成は別々に確認します。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | 架空の顧客名で録音する

KIKORELで同意の操作を行い、短く録音して終了します。

2 | 送信完了を確認する

端末の「保存先への転送・完全性確認済み」と、Hubへの原音到着を確認します。

3 | 外出時の回線でも試す

モバイル通信など普段使う回線で同じ確認を行います。PCは起動し、TailscaleとHubを動かしたままにします。

注意・確認

未送信の録音は削除しません。Wi-Fi専用iPadは、外出先で使う通信方法も用意します。

つながらない時 | 4つだけ確認

PCと端末を順番に確認します。録音を消したり、最初から全部設定し直したりしません。

順番	確認すること
1 インターネット	PCと端末の両方で通信できるか。
2 Tailscale	両方とも接続中か。Hubと同じ参加先か。
3 Hub	起動中か、PCがスリープしていないか。
4 KIKOREL	正しい保存先が選ばれ、「接続を確認」が成功するか。

解決しない場合

表示されたエラー、日時、端末名を管理者へ伝えます。承認待ち・再ログイン・HTTPSの案内がある場合も管理者へ確認します。

注意・確認

パスワード・利用開始コード・QR・顧客原音を通常のチャットへ送らないでください。別のVPNを使っている場合は自己判断で設定を変えません。